

滋賀県いじめ問題生徒会サミット

兼 第1回子どもによる滋賀県いじめ対策チーム会議
日時：平成27年8月24日（月）
場所：RiseVille都賀山



テーマ

「いじめ問題をなくすためにわたしに何ができるか」



参加児童生徒数

小学生6名 中学生29名 高校生3名 合計38名



打出中学校からの活動報告

文化祭で作成した「いじめ防止のCM」の披露をはじめUIP(打出いじめ防止プロジェクト)の取組を説明し、昨年度参加した「全国いじめ問題子供サミット」について報告しました。



ファシリテーターをしてくださった大学生の皆さん

グループ協議で活発な意見交流ができるように、大学生の皆さんにファシリテーターをしていただきました。アイスブレイキングからグループ協議まで大変お世話になりました。



守山市内4市立中学校からの報告

心がつながることが、各学校をつなぎ、守山市全体をつなぐ「わ」となる。そのような願いを込めて、いじめ撲滅スローガン「Pure Hearts 4 Moriyama 広げよう 4つの『わ』（和、笑、環、輪）」を市内4中学校でつくり、活動を共有し、思いを共有していく決意を発表しました。



グループ協議のコーディネーターは兵庫県立大学准教授の竹内先生

他県他市のいじめ調査から、「いじめられたことがありますか?」「いじめたことがありますか?」「いじめを見たときどうしますか?」の質問に対する回答について話し合い、実態を把握し、その現状を受けて今私たちに何ができるかを考えました。

6グループにわかれ 活発に意見交流をしました



いじめ問題をなくすためにわたしに何ができるか

- いじめのない環境をつくる。
- スローガンを一人ひとりがつくる。
- あいさつなど簡単なコミュニケーションをとる。
- SNSの使い方は、できる・守れるルールを自分たちでつくる。
- いじめを見つけたら、一人で止めようとせずみんなで止める。
- 生徒会で笑顔を呼びかける。
- いじめ防止の劇やCMなどを制作して呼びかける。
- いじめ防止のポスターを制作して掲示する。

最後に、これまでみんなで話し合ってきたことを、いじめをなくす三か条にまとめました。誰かがやってくれるのではなく、それぞれの学校でわたしたちに何ができるかを考え、ひとりでは難しいことも、仲間とともに活動を行っていきたいと思いました。



【いじめをなくす三か条】

いじめをするのが私たちなら
いじめをなくすのも私たち

あいさつは いじめ防止の特効薬

相手を尊重 自分も尊重